民間主導でのイベント「上芦別公園フェスティバル」を開催

８月25日、上芦別公園で地域活性化プロジェクト実行委員会（野崎浩章実行委員長）主催の「上芦別公園フェスティバル」が開催されました。

これは、市のまちづくり推進事業でのチャレンジ事業として採択された民間主導のイベントになります。

当日は好天の中、多くの市民がライブステージやゲームなどの催しを楽しみました。

特にリアルスプラトゥーン（＝写真＝）は、子どもたち３～５人で１チームを作り、２チームで色水が入った水鉄砲を撃ちあい、相手のTシャツをどれだけ汚せるかを競うゲームで、人気を集めていました。

フットサルリーグ所属のエスポラーダ北海道が芦別合宿

８月31日から９月１日までの２日間、フットサルＦリーグ２部のエスポラーダ北海道が、６年ぶり８回目となる芦別合宿を市総合体育館で実施しました。

初日は「歓迎セレモニー」が行われ、荻原市長から「体調管理に十分気をつけながら自己の目的に向かって、けがのないよう合宿を終えますように」とあいさつがありました。

小原風輝主将は、「９月16日からリーグ後半戦が始まり、リーグ優勝に向けて大事な合宿になり、素晴らしい環境で練習できることを幸せに思います」との感謝の言葉がありました。

野のおもひで館にて協力隊トークタイムを開催

９月５日、野のおもひで館にて地域おこし協力隊トークタイムが開催されました。

任期半年を残す、協力隊２人が登壇し、岩﨑佳奈美さんは、任期中に手がけた作品を紹介し、駅前にオープンしたイラスト教室のＰＲを行ないました。

また、佐野貴美恵さんは、広報宣伝活動や空知協力隊ネットワーク立ち上げまでの経緯について説明を行いました。

質疑応答の後に、野のおもひで館・館長の石川睦子さんは、約40人の参加者に向けて、任期終了後の協力隊への支援を呼びかけていました。

北海学園大学・学生による「好き」の降る里プロジェクト

９月12日～14日、北海学園大学・佐藤大輔研究室の学生による「好き×芦別『好き』の降る里プロジェクト」が開催されました。

今年で２回目の開催となる今回は、札幌圏の大学生と市内の小・中・高校生や市内企業のかたなどとの交流、夕食会を経て、最終日に総合福祉センターでグループ別のプレゼン発表が行なわれ、来場者の投票により優勝チームが決められ、結果発表の瞬間に歓声が上がりました。

優勝チームのメンバーは、「最初のインパクトや内容を重視し、芦別の『好き』について共感してもらえるよう、語りかけるように話す工夫をしました」と嬉しそうに話していました。